



『ウィンストンとクリスマスのおとしもの』

アレックス・T・スミス／さく おおたにまゆみ／やく 潮出版社 2021
クリスマスの華やかな街で、寒さに凍える小さなネズミのウィンストンは、ポストの前でサンタさんへの手紙を拾いました。プレゼントを楽しみにしている子どもの手紙です。ウィンストンは、その手紙を届けるため大冒険にでかけます。



『おやすみこりす』

虹山つるみ／さく 松山円香／え ポプラ社 2021
子りすのフウは、おばあちゃんと歌う子もり歌が大好きですが、おとうとから赤ちゃんの歌だとわられます。ある日、おばあちゃんに子もり歌をたのまれますが、フウはことわりました。それがおばあちゃんに会ったさいごの日でした。



『キツネ 命はめぐる』

イバルト・マス／文 ダニエル・イガ双／絵 青山南／訳 化学同人 2021
美しい冬の森で、いきいきと動きまわるキツネの親子。しかしある日、親ギツネが車にひかれて命を落としてしまいます。人間も動物も、皆同じ命です。キツネの死を通して、死は新しい命につながることを描いたお話です。



『クリスマス・ピッグ』

J. K. ローリング／著 ジム・フィールド／絵 松岡佑子／訳 静山社 2021
ジャックは、大好きなブタのぬいぐるみをなくしてしまいました。そこで、クリスマスの奇跡を信じて、新しいブタのぬいぐるみと一緒に、失われたものを取りもどし、一番の親友を見つけるために魔法の旅に出かけます。



『和ろうそくは、つなぐ』

大西暢夫／著 アリス館 2022
和ろうそくは、職人の手で一本ずついねいに作られています。使われる材料には何一つ捨てるものがなく、様々な職業の人たちが加工して再利用をしています。自然の恵みを大切に、日本伝統のすばらしさを感じる一冊です。



冬の季節におすすめしたい本を選びました。

2022

このブックリストは出版者の許可を得て表紙を掲載しています。

みやざきけんりつとしょかん こどもしつ (0985) 29-2596



『うさぎちゃんスキーへいく』

せなけいこ／作・絵 金の星社 2021
うさぎちゃんは、おるすばんの はずでしたが、こっそり リュックサックに もぐって スキーについてきました。でも うまく すべれません。そこに ゆきやまの のうさぎが やってきて、スキーを おしえてくれました。おともだちが できた うさぎちゃんは とても うれしそうです。



『はらぺこサンタのクリスマス』

はらぺこめがね／作 ほるぷ出版 2021
クリスマスイブのひ、サンタクロースは おおいそがし。ごはんを たべるひまも ありません。はらぺこのまま プレゼントを くばります。おやま、みずうみ、まちななか、すべての けしきが おいしそうな ごちそうに みえます。よんで いると おもわず おなかが すいてしまいそうです。



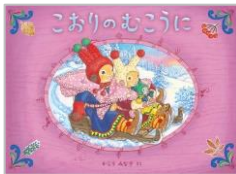
『こりすのクリスマス』

豊福まきこ／作 BL出版 2021
サンタクロースの くらす もりに、こりすが すんでいました。せかいじゅうの こどもたちに プレゼントを よういする サンタさん。そのすがたを みて りすくんは だいすきな サンタさんにも プレゼントを したいと おもいました。しあわせな きもちに になれるほんです。



『こおりのむこうに』

かじりみな子／さく 偕成社 2021
まふゆになり ラビットちゃん いっかは ゆきに とじこめられてしまいました。そんなとき おとうとの ピントパットくんが びょうきになり、いそいで びょういんに いくことになりました。かぞく みんなで ちからを あわせ うつくしい そとの せかいに すすんでいきます。



『ゆきのようせい』

松田奈那子／作 石黒誠／監修 岩崎書店 2021
つちのなかから、いっぴきの ゆきむしが めを さましました。なかまたちは さきに とびたっています。あとを おいかけて いきものたちに ふゆを しらせますが、もう みんな しています。すっかり おちこむ ゆきむし。だけど、ふゆを しらない ばしょが まだ のこっていました。



『じゅうにしどこいくの?』

すとうあさえ／ぶん おくはらゆめ／え ほるぷ出版 2021
まよなかです。じゅうにしの どうぶつたちが とことこ あるいていきます。ねずみさん、うしさん、みんな どこに いくのかな。どうやら やまの てっぺんに むかって いくようです。そこで なにを するのか? かわいい じゅうにしたちの おはなし。おしょうがつに おすすめです。



『オリーとクリスマスのまほう』

ニコラ・キルン／作 増子久美／訳 化学同人 2021
ある クリスマス・イブ。オリーが ねむっていると、シャラン シャランと そとから ふしぎな おとが しました。つられて ゆきのふる もりの なかに かけていくと、ある おともだちに であいました。さあ、オリーの ふしぎな ぼうけんの はじまりです。



『サンタクロースの冬やすみ』

マウリ・クナス／作 いながきみはる／訳 偕成社 2021
クリスマスに プレゼントを くばりおわたた サンタクロースと こびとたちは、なにを しているのでしょうか。ごちそうを たべたり、まちに でかけたり、ゆきあそびを したりと、たのしく すごして しんねんを むかえます。サンタクロースの ひみつが いっぱい つまった えほんです。



『こねこのウィンクルとクリスマスツリー』

ル・イバワズ／さく 上條由美子／やく さとうゆうすけ／え 福音館書店 2021
こねこの ウィンクルが くらす おうちに おおきな ツリーが かざられました。かあさんねこに とめられたけど、ウィンクルは どうしても ツリーに さわりたくて、まよなかこっそり ツリーに のぼります。すると ツリーの うえには かわいらしい ようせいの すがたが!

『白いのはらのこどもたち』

たかどのほうこ／作 理論社 2021
ふゆの ある 日、のはらおばさんがのんちゃんを野原に誘いました。雪の野原にはおもしろいものがいっぱいです。キツネや タヌキの足あと。人の顔に見える落ち葉やふしぎな赤い実。読んでいくうちに、自然に親しみ、仲良くなれるお話です。

